

出演者プロフィール (パネリスト50音順)

## 河内厚郎

人形浄瑠璃街道連絡協議会アドバイザー  
兵庫県立芸術文化センター特別参与

1952年西宮市生まれ。一橋大学法学部卒。演劇評論家として執筆業に入る。「関西文学」編集長を経て大阪市内に文化プロデュース事務所を開設。西鶴フェスティバルや近松ニューウェーブシアター等のプロデューサーを務め、大阪市から「咲くやこの花賞」を受ける。NHK番組審議員、毎日新聞紙面審議員などを歴任。現在、神戸夙川学院大学教授。兵庫県立芸術文化センター特別参与。阪急文化財団理事。「はびきの市民大学」学長。広告電通賞選考委員。「日本センチュリー交響楽団」評議員。「宝塚映画祭」実行委員長。「関西・歌舞伎を愛する会」代表世話人。関西経済同友会幹事。著書に『淀川ものがたり』『わたしの風姿花伝』、編著『手塚治虫のふるさと・宝塚』、桂米朝・藤本義一両氏らとの対談集『関西弁探検』、有栖川有栖氏との対談集『大阪探偵団』など。昨年6月「映画『ノルウェイの森』ふたび」の総合プロデューサーを務めた。

## 平田進也

(株)日本旅行 西日本営業本部 個人旅行営業部 担当部長

昭和32年生まれ。大学時代からTV番組『ラブアタック』の、名物みじめアタッカーとして活躍。就職後もその奇抜なキャラクターを生かして、『ガイアの夜明け』『NHKディープブルー』『探偵ナイトスクープ』などTV出演600回を超える。添乗員としても、豊富な経験と巧みな話術を生かし、『平田進也と行くツアー』には申し込みが殺到するほどの幅広いファン層を持ち『浪速のカリスマ添乗員』とも言われている。お客様からの希望で平田進也旅行クラブ『進子ちゃん倶楽部』も誕生し、22000名を超える会員を数える。著書に、実体験に基づいたビジネス書『出る杭も5億稼げば打たれない!』、『旅行業界のカリスマ7億稼ぐ企画力』がある。数多くのテレビ番組への出演や、講演をこなし、2009年11月には、新セクション『おもしろ旅企画』ヒラタ屋を立ち上げ、社内の個性派メンバーを集め、新たなユニットを旗揚げした。ヒラタ屋代表を務める。

## 淡路人形座

1964年に吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、興行を始めた淡路人形座は今年8月8日に福良港に移転し、公演する一方、国内外への出張公演、学校への出張講座、後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、伝統人形芝居の普及、発展のための活動も積極的にを行っています。喜怒哀楽 溢れる舞台を演じます。何世代もの人々の創意工夫が重ねられ、受け継がれた舞台芸術の粋をぜひご覧下さい。

## Alex Kerr (アレックス・カー)

東洋文化研究家  
特定非営利活動法人 麓庵トラスト理事長

1952年米国生まれ。1964年家族と共に初来日。エール大学、英国オックスフォード大学卒業後、1977年より京都府亀岡市に在住し、日本と東アジア文化に関する講演、執筆等に携わる。2004年(株)庵を設立し取締役会長として京町家の再生事業、景観コンサルタント、日本伝統文化体験研修事業を開始。2010年に会長職を退職。その後はNPO法人「チイオリ・トラスト」の理事長として日本伝統家屋の修築保存活動、及び日本伝統文化体験研修事業を続行。著書:『美しき日本の残像』(1993年新潮社、新潮学芸賞受賞)、『犬と鬼』(2002年講談社)、Bangkok Found(River Book, 2009)その他。徳島県では、1973年に東祖谷山村で茅葺き屋根の民家(屋号=ちいおり)を購入し、その後、屋根の葺き替えを完成させ、田舎の復活活動に取り組んでいる。現在は、三好市をはじめ、全国各地で地域観光振興のコンサルティングを行っている。

## 三林京子

女優、落語家

昭和40年、NHK児童劇団を卒団、山田五十鈴氏のもとで付き人修行を始める。昭和45年、東宝演劇部と専属契約を結ぶ。芸術座「女坂」、瑠璃子役で初舞台。昭和50年、NHK大河ドラマ「元禄太平記」のおとき役でテレビデビュー。ゴールデンアロー新人賞、日本映画・テレビ製作者協会賞受賞。平成10年、エッセイ「お先にどうぞ」出版。父は、文楽人形遣いで人間国宝の二世桐竹勘十郎、弟は、三世桐竹勘十郎。幼い頃から文楽に親しみ、現在もファンとして深い関わりをもつ。<社会活動>平成4年、大阪市いちよう大学(高齢者大学)初代学長。平成10年、大阪府教育委員(平成14年9月任期満了)。平成13年、日本ユニセフ協会大阪支部評議員。平成15年、文化庁文化審議国語分科会委員。平成19年、大阪芸術大学短期大学部広報学科専任教授。平成19年、文化庁文化審議会文化政策部会臨時委員など。

## 人形浄瑠璃街道とは

人形浄瑠璃が関西で発祥・発展し、全国に広がったと言われている歴史的経路を人形浄瑠璃街道と位置づけています。関西が一丸となってその魅力をアピールするため、広域的なネットワークで、各地の関係者が相互の情報交換を行って、交流・連携を深め、それぞれの個性を伸ばすとともに、府県域を越えた魅力溢れる文化資源の掘り起こしや観光資源としてのPR活動等を展開する組織として、関西7府県(※)の官民で構成する「人形浄瑠璃街道連絡協議会」があります。

(※ 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・和歌山県・鳥取県・徳島県)

## 岸上敏之

南あわじ市教育委員会 教育部部長

昭和30年生まれ。昭和48年4月、南淡町役場採用。平成17年1月、南あわじ市教育委員会生涯学習文化振興課長。平成20年4月、南あわじ市教育委員会教育部次長。平成23年4月、南あわじ市教育委員会教育部部長。<人形浄瑠璃関係>昭和52年4月~昭和56年3月、財団法人淡路人形協会事務局。昭和51年1月、豊澤町太郎師匠に師事。昭和61年4月、鶴澤友路師匠に師事。平成5年、淡路素義審査会第22代横綱。平成7年、日本素義振興会第15代横綱。平成15年2月、鶴澤友路師匠より友龍を拝名。淡路人形座海外公演に参画(フランス・スペイン・香港・オランダ・ベルギー・オーストラリア・ニュージーランド)。

## 道辻松一郎

(公財)阿波人形浄瑠璃振興会会長

平成10年1月、平成座新年会にて豊澤町子師匠に勧められ、平成座に大夫として入座。平成10年10月、人間国宝鶴澤友路師匠に師事。平成15年12月、師匠より道辻友十を拝名。平成19年5月、大夫10年目を迎えたのを機会に「人間国宝鶴澤友路師匠を迎えて、宮島金刀比羅神社新築落成記念浄瑠璃大会」を阿波十郎兵衛屋敷にて主催。師匠の三味線で、一の谷嫩軍記、三段目熊谷陣屋の段を語る。人形は岡花座。平成20年6月、阿波人形浄瑠璃振興会副会長に就任。平成21年5月、ブラジル移民101周年記念、平成座ブラジル公演に参加。平成24年4月、阿波人形浄瑠璃振興会会長に就任。